

# 令和4年度豊頃町・大樹町 姉妹都市子ども親善使節団派遣事業報告

問合せ先

教育委員会社会教育係

☎579・5801

昭和59年度から大樹町と合同で始まった豊頃町・大樹町姉妹都市子ども親善使節団派遣事業は、これまで、延べ371名を相馬市へ派遣し、各市町の交流を深めてきました。19回目を数える今年度は、団員19名（うち豊頃町10名、引率者6名（うち豊頃町3名））の計25名が7月29日（金）から8月1日（月）の3泊4日で、姉妹都市である相馬市を訪問しました。新型コロナウイルス感染症により3年ぶりとなる本事業については、感染対策のためホームステイは行わず、相馬市児童との交流や震災学習を中心とした行程に変更しました。

## 7月29日（1日目）

待ちに待った研修1日目。子どもたちは元気にえる夢館に集合し、豊頃町子ども親善使節団結団式を行いました。原田希さんが団員代表挨拶をし、える夢館を出発。幸福駅で大樹町子ども親善使節団と合流し、合同結団式を行いました。その後、新千歳空港から空路、仙台空港へ。



空港から相馬市への移動中、バスの車窓から見える瓦屋根や水田などの景色に、子どもたちは興味津々の様子でした。また瓦屋根にはブルーシートをかけている家もあり、今年3月の地震の被害が残っている様子もうかがえました。

はじめに震災学習として、実際に被害にあった請戸小学校と東日本大震災・原子力災害伝承館を見学しました。小学校には15メートルの大津波による被害の様子がそのまま残っており、映像でしか見たことがなかった津波の恐ろしさや避難の大切さを学びました。



伝承館では、震災による原子力災害の様子を資料や映像から見ることができ、今なお続く復興の様子を勉強することができました。

相馬市到着後は、歓迎式に出席しました。相馬市教育委員会福地教育長をはじめ、関係者の皆さまが、使節団一行を温かく迎えてくれ、中村海士さんが児童代表として挨拶をしました。子どもたちは、緊張した面持ちでしたが、一人一人しっかりと大きな声で自己紹介できました。



## 7月30日（2日目）

研修2日目は相馬市の児童と一緒に体験活動を行いました。ビーチバレー体験では、地元の競技団体が指導してくれ、慣れない砂の上



で苦戦しながら一緒にプレーすることで徐々に打ち解けている様子が見えられました。スイカ割大会では、なかなか棒がスイカに当たらず難しそうにしながらも楽しんで参加し、スイカを食べながら仲良く談笑する様子も見られました。

浜焼き体験ではイカを串刺しにするところから体験し、秘伝のタレをかけたイカをおいしそうにほおばっていました。海水浴・サップ体験も行われ、海水浴体験では、プールでしか泳いだことがない子どもたちが「海で泳ぐのは全然違う」と感想を話していました。続

いて行われたサップ体験では「ボードの上に立つのが難しかった」、「ボードの上から海に飛び込むのが楽しかった」との声が聞かれました。

夕食後には、「相馬田んぼアートプロジェクト」というアートイベントから「光のおまつり」という、田んぼにプロジェクションマッピングを投影した迫力ある作品を堪能することができました。

一日という短い時間ではありませんでしたが、相馬市児童との交流を通じて夏の相馬市を満喫した子どもたちでした。

## 7月31日（3日目）



仲良くなった相馬市児童らが見送りにきてくれ、別れを惜しみながら出発しました。

宮城県松島町では、国の重要文化財

に指定されている五堂、瑞巖寺を見学し、日本三景と呼ばれている島々の景色を汽船から眺めました。

当日は気温36℃にもなる猛暑日で、皆気持ちよさそうに波風に当たっていました。その後、仙台市に移動し、仙台うみの杜水族館の見学をしました。

色とりどりの魚やペンギンやアザラシなどの海獣のほか、大迫力のイルカショーを最前列で観覧し、水しぶきがかかるたびに悲鳴を上げながら楽しんでいました。



## 8月1日（4日目）

研修4日目は、仙台城跡の見学をしました。有名な伊達政宗騎馬像については、今年3月の地震により修理中でしたが、当時の仙台城の様子がわかる動画を見学し、仙台空港へ出発。新千歳空港に到着し、迎えるバスに

乗り込むとほっと安堵の表情を見せた子どもたち。

幸福駅で合同解団式を行い、4日間一緒に行動した大樹町の仲間との別れを惜しみながら豊頃町へ出発。その後える夢館で豊頃町子ども親善使節団結団式を行い、中村吉来さんの帰町報告後、無事に3泊4日の日程を終了しました。

今回参加した団員にとって、親元を離れた見知らぬ土地での研修は、大冒険だったに違いありません。

初めて経験することはかりで、不安や緊張もたくさんあったと思います。

それらを乗り越え、研修を終えた今、ひと回り成長した自分に出会えたはずです。さらに、相馬市児童の皆さん、そして一緒に行動した大樹町の仲間との交流を通して、人の心の温もりに触れられたことは、生涯に残る宝物となったはずで

結びに、町民の皆さまのご理解により、本事業が昭和五十九年からの長きに渡り続けられていることに改めて感謝申し上げます。今後も相馬市との友好が末永く続くことを祈念し、令和4年度姉妹都市相馬市への豊頃町・大樹町姉妹都市子ども親善使節団派遣事業報告とさせていただきます。

## 豊頃町子ども親善使節団員



### 【団員】

- 小川 健心（豊頃小学校6年）
- 坂井 悠飛（豊頃小学校6年）
- 澁 佐考星（豊頃小学校6年）
- 田中 総太郎（豊頃小学校6年）
- 原田 希（豊頃小学校6年）
- 平間 泰輔（豊頃小学校6年）
- 米澤 愛唯（豊頃小学校5年）
- 津久井 千晶（豊頃小学校5年）
- 中村 海士（天津小学校6年）
- 中村 吉来（天津小学校6年）

### 【引率者】

- 長濱 竜一（団長・教育委員会委員）
- 近藤 正晃（豊頃小学校教諭）
- 滝沢 諒（教育委員会事務局）

【豊頃町教育委員会】

▽子ども親善使節団派遣事業報告

役場だより

▽子ども親善使節団派遣事業報告

役場だより